

1月23日（月）

きょうは、みんなが大好きな“カレー”についてのお話をします。

日本にカレーが伝わったのは、アメリカやヨーロッパの文化が、

^{せっきよくてき}積極的に取り入れられていた^{めいじ}明治時代のことです。その時に、イギリスからカレーが伝わりました。その頃の「^{せいようりょうりしなん}西洋料理指南」という料理の本に、カレーの作り方が^{しょうかい}紹介されています。しかし、今のカレーとは^{ちが}違い、その時は、カエルの肉や長ねぎを使用して作っていたようです。その後、今のカレーの材料の^{ていばん}定番である玉ねぎ・にんじん・じゃがいもが北海道を中心にたくさん作られるようになり、さらに日本で作った安いカレー^こ粉が広がったため、^{たいしょう}大正時代に今のようなカレーの^{もと}元になる形ができました。

それでは、カレーについて^{くわ}詳しくなったところで、きょうも、しっかりと残さずに食べましょう。